

一般会計補正予算の主な内容

- 放課後児童クラブ施設整備事業 481万円**
次年度に開設する予定の放課後児童クラブ施設の整備
 - 中小企業金融対策事業(感染症対策) 560万円**
利子補給金の増加に伴う追加
 - 住環境向上及び住宅・木材産業活性化緊急促進事業 600万円**
需要が落ち込んでいる住宅産業・木材産業の活性化
 - 防災情報配信設備整備事業 3894万円**
災害情報配信設備の整備、配慮が必要な世帯に設置する戸別受信機の購入
 - 農地豪雨災害復旧事業 6666万円**
7月の豪雨災害により被害を受けた農地・農業施設の復旧
 - 林業豪雨災害復旧事業 1億1850万円**
7月の豪雨災害により被害を受けた林道の復旧
 - 道路河川豪雨災害復旧事業費 6億8000万円**
7月の豪雨災害により被害を受けた道路や河川の復旧
 - 観光施設豪雨災害復旧事業費 3200万円**
7月の豪雨災害により被害を受けたふるさと森林公園の復旧
- など

定例会は12月3日から11日までの9日間で開催され、令和2年度補正予算6件、条例改正等8件、請負契約の変更1件、財産の取得1件、財産の貸付1件について審議し、原案のとおり全会一致で可決しました。請負契約の変更一般質問は4議員が行い、町政全般について問いました。

質疑

受信機を全世帯に配備しない理由は

金田委員 防災情報受信機を高齢者の単身世帯に配備する予定となつているが、全世帯に配備しない理由は、**総務課長** 携帯電話、スマートフォンをお持ちの方は、これらへの

緊急配信メールで連絡が取れるので、その手段を持つておらず希望される方に450台を見込んでいます。

金田委員 機器の月々の使用料は、

総務課長 本人の負担は無償で貸与したい。1台当たり月額3000円の通信料がかかるが、これは町で負担したい。

11ページに関連記事

早急な予算措置を

金田委員 小規模農地等災害復旧事業について、緊急事態にもかかわらず、臨時議会を開いて早急に予算措置を行えなかったのか。
農林課長 財源の確保に時間がかかった。そのためこのたびの補正予算として対応させていたいただいた。

金田委員 当初予算から補正額が大幅に増えている。その捉え方は、**農林課長** 申請が203件で、全体で4800万円ということになり、見通しが足りなかったと捉えている。



会計項目	補正額	補正後の額	
一般会計	9億8644万円	110億5400万円	
特別会計	下水道	836万円	4億9893万円
	農業集落排水	120万円	1億7821万円
	介護保険	443万円	18億8551万円
	後期高齢者医療	80万円	1億4819万円
事業会計	病院収益的支出	340万円	12億3174万円
	病院資本的支出	1600万円	1億2712万円

※万円未満は端数調整